

職業として魅力ある農業の確立（営農の効率化、収益性の向上）

施策3-① 営農の効率化、省力化

スマート農業など先端技術を活用するとともに、農業生産基盤を整備し、営農の効率化・省力化を図ります。

<具体的な取組>

- スマート農業を推進し、省力化、低コスト化を進めることで経営規模の拡大、収益性の向上を図ります。
- スマート農業機械の導入に対する支援や活用するための環境整備を推進します。
- 将来にわたり安心して営農できるよう、各地域の担い手の要望に沿った農業生産基盤の整備を行います。

施策3-② 収益性の向上

より収益性の高い販路開拓や、農作物の価値を高める取組について農業協同組合をはじめ関係機関と連携し、支援します。

<具体的な取組>

- 収益性の向上を図るため、農業者や農業協同組合と連携し、農作物の輸出に向けた取組を推進します。
- 県内・県外において農業者、農業団体と連携し、山武市の農作物をPRし、新たな販路開拓を図ります。
- 農業生産資材や肥料の高騰により生産コストが上昇している状況にあるため、生産コスト削減に向けた取組を支援します。

施策3-③ 鳥獣被害・スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）被害対策

鳥獣等による農作物への被害対策として、駆除による個体数の削減、被害対策への取組を支援します。

<具体的な取組>

- 鳥獣による被害対策については、山武北部猟友会、山武市有害鳥獣駆除隊と連携し、駆除による個体数の削減を目指します。
- 鳥獣による被害対策を集落単位で実施する地区について、罠の貸与等について支援します。
- 水稲へのジャンボタニシによる被害を防止するため、防除対策を行った農業者に対する支援や被害防止対策を進めます。